

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 263 号 2020. 3. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

猫道アートフェス 2020

千葉県 森章代

2月21～23日、新宿区の落合・中井で、地場産業の活性化を目指すプロジェクト「染の小路」が、新型コロナウイルスへの対応策を講じ開催され、その中の「猫道アートフェス」(22、23日)に、「むせひ屋」として2度目の出展。無施肥無農薬栽培のお茶と、自然素材の弥生工房ジョリフィユのクッキーとマドレーヌを、路上スペースにて販売いたしました。

しかも今回初めて、主催者から弥生工房のクッキーを依頼され、「うつわカフェ トライ」にて委託販売しました。店の奥様は、生産者の想いを丁寧に伝えてくださり大好評でした。

今年は都庁や新宿区等多くの方々の努力で、猫の日の22日に、自慢の猫柄の着物やアクセサリを身に付け、盛り上がりました。江戸伝統染色、地域性により、来店者の1割が外国人、日本語が上手で驚きました。市川の焙じ茶を試飲すると、美味しい！と、パッと皆笑顔に。今期は550人に飲んでいただき、焙じ茶が飛ぶように売れ、長者原の煎茶のリピーターもおられました。自然農法の物は、飲んだ方に幸福と感動を頂けるのだと改めて思いました。

昨年、猫道と同時開催の「東中野別院頒布会」へつながった方は、この1年、毎回欠かさず東中野の会場に来店され、今回も「今行ってきたの」と、大荷物と満面の笑みで会いに来てくださいました。ある若い男性は、真の岡田茂吉師の自然農法に強い関心があり、お名前と連絡先を頂きました。母国でご両親が葡萄栽培農家だとおっしゃる若い女性は、中井に3ヵ月居住し、間もなく帰国する前に良いお茶を探していたところで、ネーチャーファームに感心され、とても喜ばれ、100gの焙じ茶を購入。また日本語を話せないご夫婦、奥様は試飲され、ご主人は拒否されましたが、「ネーチャーファーム」と説明した途端、真剣に奥様の感想を聞き、ご主人が100gの焙じ茶を購入。

今回、外国の方の食への敏感さに触れ、そんな外国の方に、日本にも本物があるということをお伝えできたことに感謝し、市川生産グループ皆で、日本人へのお知らせにも努力したいと思いました。



带状疱疹のような湿疹の回復！

神奈川県 鈴木博視

身体にじんましんのような湿疹が出来ました。湿疹の箇所はここという具合には定まっておらず、毎日、右腕から湿疹が出始め、右腕全部が次第に真っ赤になり、それが右太ももに移動。右太ももが真っ赤に腫れ上がると、次は左腕に移動し、左腕全部が真っ赤に腫れると、左太ももに移動していくという具合でした。しばらくこういった症状が続いた後、今度は、血管に沿って縦に湿疹が出来るようになり、しまいには、耳の中まで湿疹が出来、強いかゆみと痛みが交互に襲っていました。

家族で同じものしか食べていないのにどうして自分だけなのだろうか、加齢で体質が変わってしまったのか、それとも夏の疲れなのだろうか、とあれこれ考えてみましたが、これといった原因はわかりませんでした。とりあえず、好きだった毎晩の晩酌を止め、今まで食べていた乳製品、豆乳、鶏、豚、魚といったタンパク質の食事をも止め、野菜中心の精進料理に替えました。しかし、湿疹は、全く治る気配はありませんでした。「自然農法ホットニュース」に“自然の物だけを食べたら元気になった”という記事が書いてありましたので、思い切って自然農法の物で徹底してみようかと思い、さらなる食事の改善を図ってみました。食材は森さんのもち米に山本さんの卵、堀さんの赤豆、青木さんの黒胡麻、そして市川グループの焙じ茶だけを用いた限定食事です。まさに修行僧のような食事でした。体調の悪いときほ

ど自然農法の物の味がよく分かり、美味しいといわれますが、まさにその通り、毎日の自然農法の食事を通して、こんなに自然食が美味しいとは思いませんでした。

湿疹のほうは、時々帯状になって広がり、耳の中までかゆみや痛みが出ているので、もしかしたら『带状疱疹』ではないかと疑いました。ラジオ番組で、「带状疱疹は帯状に赤い湿疹が出て、つらいのはその痛みで、痛みも千差万別。中には痛みではなく、“かゆみ”“しびれ”を訴える人もいます。発症する人の7割が50歳以上で、特に、50代～90代にかけて多く、発症頻度がピークになるのは60代～80代です」という説明でしたので、年代的には合っている。

さらに、「多くの患者さんは、“痛みで眠れない”“衣類が触れるだけでも痛い”等の激しい痛みで襲われて日常生活に大きな影響が出ることもあります」との説明がありましたが、私の場合は、かゆみが中心で痛みはその次。夜はかゆみや痛み等忘れたかのようにぐっすり寝ていますので、ここが普通の人とは大きく違っているのです。これも毎日自然食のお陰で、しかも、わずか4週間でやせ衰えることなく完治させていただきました。このように自然農法のもち米と卵と焙じ茶だけの食事で、しっかり生命力が付き、さらに体内の改善もしていただいたことに驚いております。いかに自然農法の物が素晴らしいか、改めて分かっていただきました。

TOREK 東中野頒布会

2月23日(日)東中野頒布会に足を運びました。

まず係の方に勧められたのは、干しシイタケ戻し汁のにおい比べでした。非常にめずらしいと思いました。確かに自然農法は優しいスツとした香りでしたが、有機は薬品のようなにおいがしました。会場には、野菜や加工品、お菓子が並び、有り難かったのは試食の数々でした。サツマイモやジャガイモの甘さ、美味しさ、菊芋はめずらしくミートソース風に調理してあり、これもおいしかったです。

今回販売されたおにぎりは、千葉県勝田台の自然農法37年の熊澤さんの自然米でした。おいさに驚き、お土産にされている方がいました。

生産者のトークコーナーでは、千葉県の金野さんと西山さんのお話を聞きました。西山さんは種苗店に勤めながら作物の生産をしています。大量生産が求められ、チッ素リン酸カリを常用する今の時代に、自然農法の作物を消費者に提供する喜びの大切さを熱く語ってくださいました。金野さんは畑



作に取り組み22年、探求をし続け、葉物等は慣行栽培と違い、すじがなく甘くおいしいと好評です。昨年10月には東京農大の教授数名が見学に来られたとのこと。その後のテーマ座談会も、自然農法をしてみたい方や、野菜を生で食べることを好む方、添加物に関心ある方々が参加され、盛り上がりしました。

今回、社会情勢を考慮し、衛生面に気を配っての開催でした。来場者があるか心配でしたが、本当の食に関心のある方は多く、こういうきにこそ自然農法の普及が大切ではないかと思いました。(編集部)

お知らせ

★ 自然農法頒布会 4月22日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00～15:00 (売切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

生産者の方々が直接販売されます。

4月3日 於：伊都能売会館

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 長柄山自然農園 : 卵
- きじま平自然農産 : 納豆、米粉、甘納豆、ブルーベリージャム
- 中島農園 : ジャガイモ、ネギ、小松菜、ほうれん草
- ジョリフィユ : プリン、マドレーヌ、クッキー 他
- 菜園金野 : ほうれん草、小松菜、小カブ

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>